

兵庫県・丹波地域合同防災訓練に参加しました



令和 5 年 9 月 3 日、兵庫県丹波市柏原町の丹波の森公苑で自衛隊や警察、医師会、栄養士会、動物愛護センターなど約 70 機関と地元住民が参加し、高齢者や女性・子供・外国人などの要配慮者やペットの同行避難など、多様なニーズに配慮した避難所の設置・運営訓練のほか、救出救助訓練、重傷者広域搬送訓練などが行われました。

【看護師】 今回の訓練では、避難所に避難してきた模擬被災者に直接話を聞き、被災者のニーズや傷病の緊急度を判断し、多職種と連携したこと、J-SPEED や EMIS の入力を行いました。私が今まで参加させていただいた救護の訓練は、机上訓練であったため、実際に救護班として活動できるのかすごく不安でした。今回は、より実践に近い訓練ができたことで救護班としての活動がより具体的にイメージでき、どのような対応が求められるのか考える良い訓練となりました。

【主事】 訓練に参加し、新たな知識と洞察を得ることができました。この訓練は、災害発生時に迅速かつ効果的な救護活動を行うための必要なスキルと心構えを養う貴重な機会でした。

まず、この訓練で学んだ最も重要なことは、チームワークの重要性です。災害現場では、単独では多くのことを成し遂げることは難しいことがあり、他の救護隊員との連携が不可欠です。シミュレーションを通じて効果的なチームプレイの方法を学び、コミュニケーションスキルを向上させることができました。

今後は、地域社会に貢献する一員として、得た学びを活かしていきたいと思ます